

宇和島市地域調査研究事業 課題提案書

年度	R7	No.	1		
テーマ	インバウンド宿泊需要取り込み型経済活性化及び魅力向上				
提案者	組織・部署 の名称	宇和島市産業経済部商工観光課			
	所在地	宇和島市曙町1番地			
	担当者	氏名	商工観光課観光係長 相山孝章		
		電話番号	0895-49-7023	F A X	
		メール	sugiyama-takaaki@city.uwajima.lg.jp		

※所在地・担当者氏名等は、企画課からの連絡等に記入を求めるもので、研究事業募集の際には公表いたしません。

課題の内容	国が発表した宿泊旅行統計調査の2025年（令和6年）速報値では、愛媛県内の外国人延べ宿泊者数が448,570人となり、コロナ前の2019年の216,270人と比べ107.4%増と驚異的な伸びを見せている中、宇和島市内の2025年における外国人延べ宿泊者数は、過去最高値ながらも4,231人と県内インバウンドの1%程度しかその需要を取り込めていないと推測される。 インバウンド需要を取り込み、特に経済波及効果の高い本市への観光宿泊を促進するには、認知度や滞在時間、満足度の向上を図る戦略づくりが課題となっている。				
提案背景 ・現況	構成員	商工観光課、宇和島市観光物産協会、木屋旅館、観光デジタルマーケティングアドバイザー			
	実施箇所	宇和島市全域			
	実施状況	観光情報センターシロシタ及び木屋旅館がJNT0認定外国人観光案内所であるほか、木屋旅館支配人のグレブバルトロメウス氏が宇和島市観光物産協会のインバウンドプロモーターとして各種インバウンド事業に携わる。			
	その他	観光デジタルマーケティングアドバイザーとしてDXコンサルタントの外部専門人材が令和7年4月より着任しており、業務の一環として、宇和島市のインバウンドマーケティングを担うこととしているため、大学等に求める研究内容とも連携していくことも検討可能。			

大学等に 求める 研究内容	・ 対インバウンドにおける宇和島市の現状評価 ・ インバウンド需要を取り込み、特に経済波及効果の高い本市への観光宿泊を促進する、認知度や滞在時間、満足度の向上を図る戦略づくり。 ・ 上記戦略に基づくコンテンツや観光周遊ルートの開発、ブラッシュアップ、及び再構築などの具体的アクションプランづくり。
期待する 効果	インバウンド需要取り込みによる観光産業をはじめとする本市経済の活性化及び魅力向上。

※ 複数ページにわたっても構いません。適宜行を広げて記載してください。